

令和7年度 社会福祉法人 大形福祉会 メイプル保育園 自己評価表

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ①

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する						
項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			保育目標については全職員で検討し、共通理解に努めたが不十分なところがあった。次年度に向けて、再度理解を高めていく。
	目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。			○		
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			園児の特性に合わせて援助や支援を行っていたが、難しく感じる場面もあった。今後も実際の子ども達の姿に沿った保育を行えるようにしていく。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。	○				
行事について	行事の種類や実施回数は適切か。		○			自然環境の影響により中止になった行事があった。来年度も暑さが予想される為、室内施設の利用等を検討していく。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	計画・実施・評価・改善の体制を取っているか。	○				
	保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
食育について	食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか		○			日々の給食を通して食への関心や感謝の気持ちを育むことができた。前年度の食育計画を職員間で話し合った上で、反省を活かし次年度に繋げていく。
	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食育について見直しや改善を図っているか。		○			

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ②

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する							
項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			
		職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		職員の配置は適材・適所か。	○				
		係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	各種会議を適切かつ能率的に進めているか。		○			定例会議の場では、職員間で課題を話し合う機会を設けていたが、積極的な発言を引き出せるよう努めていきたい。
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別クラス運営	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			今年度から乳児組が合同保育になり、子どもたち同士良い刺激を受けながら過ごすことが出来ていた。
		年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		年齢別・クラス目標に迫る期間・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		同年齢及び異年齢児間の効率的な活動の充実を図っているか。		○			
		意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	年齢別・クラス運営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			保健だよりを年に数回発行した。感染症や熱中症などの情報を保護者に発信することで、家庭での過ごし方についての留意点をお知らせした。
		避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○				
研究・研修	園内	研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			来年度は、園外研修に参加する機会を増やしていく。	
		所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。			○		
		各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○		

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ③

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する							
項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。		○			年長児が小学校の授業の一環で行われたイベントに参加をした。実際に小学校へ行き体験することで、就学への意識も高まったと思う。
		他施設等の乳幼児や生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	子育て支援	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			保護者から相談があった場合など、必要に応じて専門機関との情報共有を行っている。
		医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報発信	保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
		行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に周知しているか			○		
情報	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○					
	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	各表簿は、適切な時間・応報で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					
	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	不審者等に対応する周到的な配慮を行っているか。	○					
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					

全体評価

日々の保育の振り返る機会を多く設けた。個別の対応ができるように、園全体で情報を周知していた。課題が見られたときは改善するよう努めた。今後も必要に応じて職員が連携して保育を行えるよう、会議や研修等の場では積極的に話し合いができるよう工夫していきたい。

保育士体験は、昨年度と同様、お友達との関わり方や家庭とは違ったお子さんの姿を目にすることで、子育てについて新たな気づきがあった保護者の方もいらっしゃった。来年度も子育てに対する思いや悩みなどを共有出来る良い機会にしていきたいと思う。

休日保育や一時預かりなど受け入れていく事で、引き続き地域の子育て支援につながるよう努めていきたい。